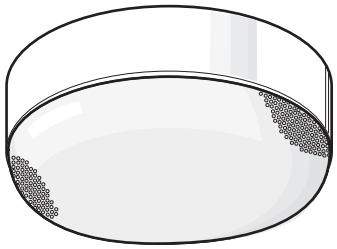
UNI-PEX

取扱説明書

天井露出形スピーカー

SP-233　SP-233LA（アッテネーター付）



このたびは、天井露出形スピーカーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
スピーカーを取付けの際は、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取付工事に関する説明をよくお読みの上、正しくお取付、配線をおこなってください。設置工事終了後、この取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。この取扱説明書はお読みになりましたら大切に保管し、後日わからないことがあれば再びご覧ください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

安全上のご注意〈必ずお守りください〉

●ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取付工事に関する説明をよくお読みの上正しくお使いください。
●お読みになったあとは必ず保存してください。

⚠ 警告

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる
煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに使用を中止し、工事店などにご連絡ください。

工事は工事店に依頼する
工事には、技術と経験が必要です。火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。

分解／改造はしない
火災の原因となります。修理や点検は、工事店などにご依頼ください。

配線は正しくおこなう
ショートや、誤配線により火災の原因となります。

常時振動する場所に取り付けない
振動で金具が破損し、落下によりけがの原因となります。

可燃性雰囲気中で使用しない
爆発する恐れがあります。

過大入力を加えない
火災やけがの原因となります。

⚠ 注意

油煙や湯気が当たるような場所に置かない
火災･感電の原因となることがあります。

長時間音が歪んだ状態で使わない
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

重量に耐える場所に取り付ける
取付場所の強度が不十分なとき、落下したりしてけがや破損の原因となることがあります。

配線は、アンプの電源を切っておこなう
感電の原因となることがあります。

磁気テープなどを近づけない
フロッピーディスクやテープなどの情報が消えます。

定期点検を実施する
定期点検を実施し取り付け状態を確認してください。

取付方法（取付金具）

スピーカーを取り付ける場合は、スピーカーの重量に充分に耐えられる場所、または補強を施した場所へ設置してください。尚、取付場所の強度不充分、取付方法の不備による事故に対する一切の責任は負いかねます。

1. 取付金具を天井に取り付ける

天井材が木などの場合

●図1の取付金具寸法図を参考にしてスピーカー取付位置にスピーカーコードを配線してください。

●スピーカーコードを取付金具のコード引出し穴Aに通し、付属の取付ねじで取付金具を天井に取り付けてください。

ご注意　取付金具は「天井側」刻印のある面を天井側に向け取り付けてください。（図1/2/3参照）

図 1

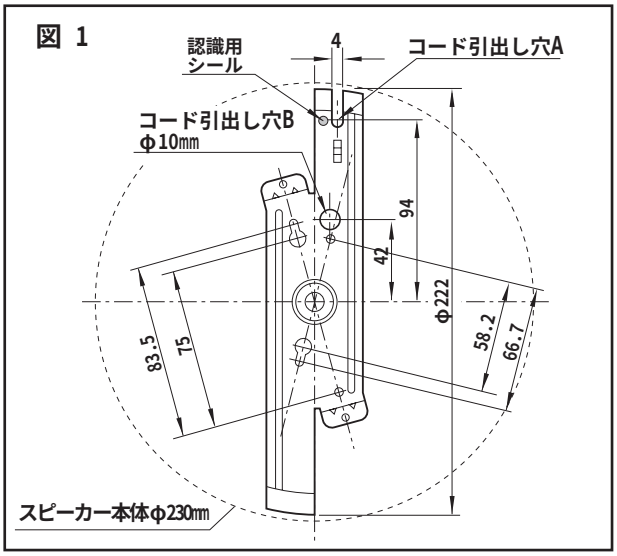


図 2

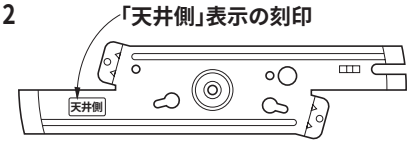
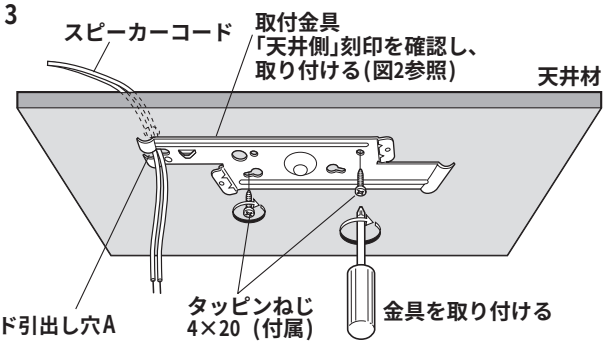


図 3



スイッチボックスの場合

●スピーカーコードを取付金具のコード引出し穴Bに通し、付属の取付ねじで取付金具を天井に取り付けてください。

ご注意　取付金具は「天井側」刻印のある面を天井側に向け、取り付けてください。（図1/2/4/5参照）

図 4

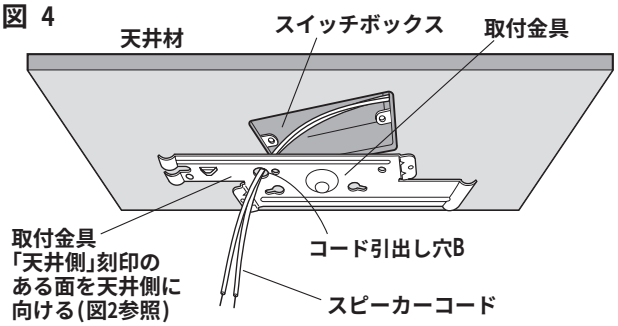
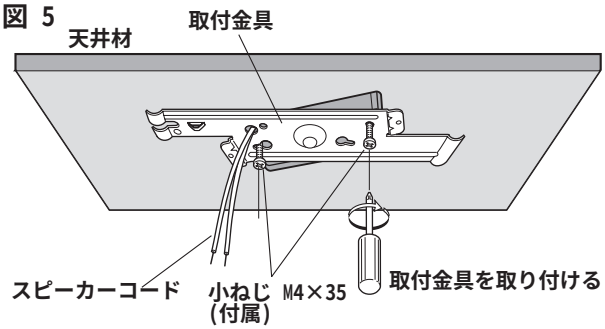


図 5



取付方法（スピーカー本体）

2. 取付金具にスピーカー本体の安全ワイヤーを掛ける

●落下事故などを防止するために結線及び取付作業をおこなう前には、必ず安全ワイヤーのフックを取付金具に引っ掛けてください。(図6/7参照)

図 6

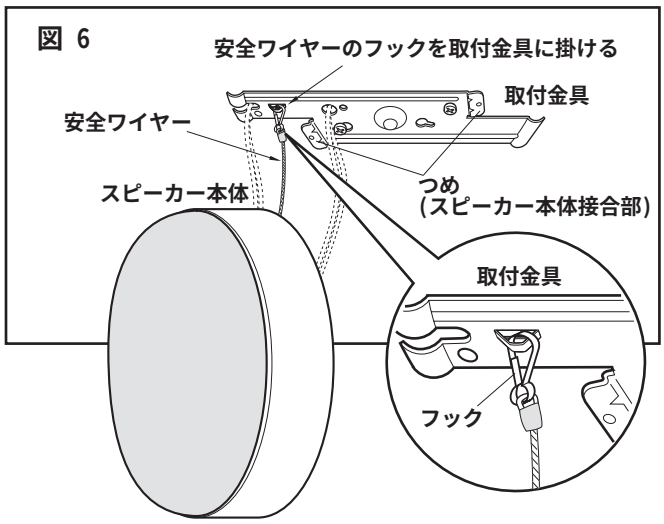
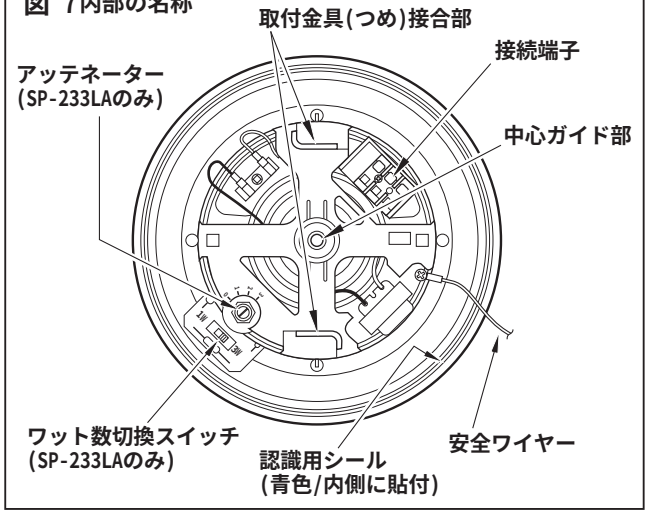
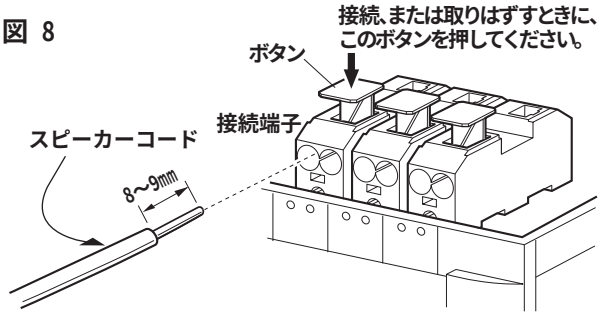


図 7内部の名称



3. スピーカーコードを接続端子に差し込む

図 8



機器との接続については、4ページの配線方法をご覧ください。

●接続端子にスピーカーコードを接続してください。
(図7/8参照)

結線方法

●電線被ふくを8〜9㎜剥がしてください。
●接続端子上部のボタンを押しながら、端子穴に芯線を奥まで差し込んでください。

はずしかた

●電線を取りはずす場合は、接続端子上部のボタンを押しながら、電線を引き抜いてください。

4. スピーカー本体を取付金具に取り付ける

●引き出されたスピーカーコードの長さを15㎝〜20㎝の範囲内に戻してください。
●両方の認識用シール(スピーカー本体と取付金具)の位置を合わせ取付金具にスピーカー本体を被せる。(図9参照)
●スピーカー本体を図10の矢印の方向に「カチッ」と止まるまで回転して取り付けてください。

ご注意 取付金具とスピーカー本体の双方の中心ガイドが合っていないとき、または両方の認識用シールの位置が合っていないときにスピーカー本体を回転させても完全に取り付けることができません。取付終了後はスピーカーの取付状態をよく確認してください。(図7/9/10参照)

図 9

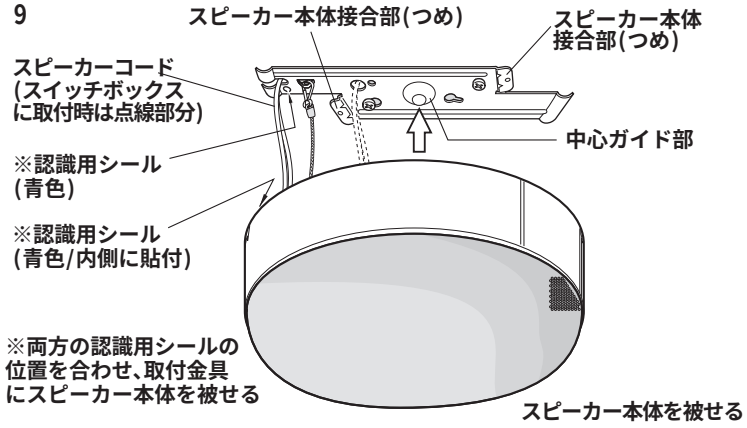
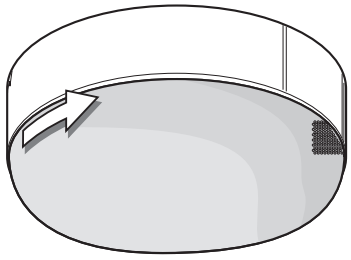


図 10

スピーカー本体を天井方向に押さえながら、
矢印の方向に回転させる



取付終了後はスピーカーの取付状態をよく確認してください。

適用スピーカー線

●非常用放送設備の場合は必ず耐熱電線φ1.6、またはφ1.2の単線をご使用ください。業務用放送設備専用の場合は、HIV、IV線も使用可能です。

○＝使用可
×＝使用不可

	耐熱電線φ1.6	耐熱電線φ1.2	HIV	IV
非常用放送設備	○	○	×	×
業務用放送設備	○	○	○	○

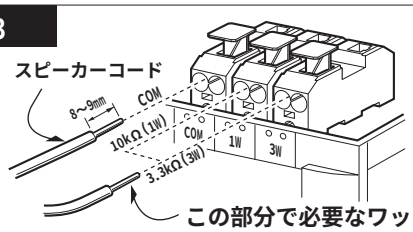
配線方法

●スピーカーコードを下記の説明に従って各接続端子に接続してください。(図11/12/13参照)

■ご注意
接続するスピーカーの合計インピーダンスがアンプの出力インピーダンス以下にならないようにご注意ください。

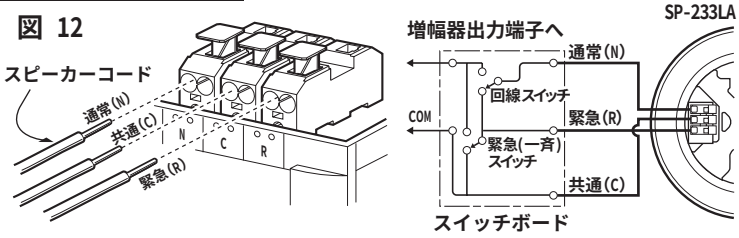
SP-233

図 11



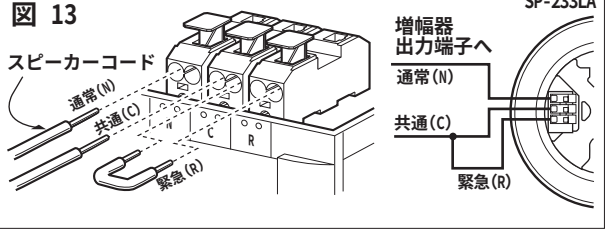
SP-233LA 3線式

図 12



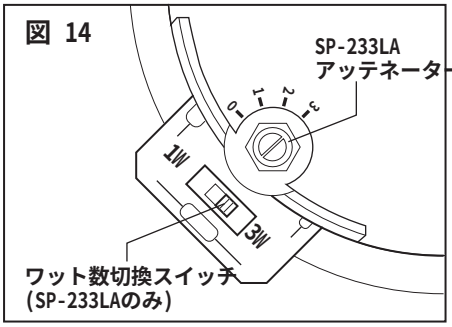
SP-233LA 2線式

図 13



アッテネーターとワット数切換スイッチについて（SP-233LAのみ）

図 14



●SP-233LAの場合はスピーカー本体を天井に取り付ける前にアッテネーターの調節とワット数切換スイッチで必要なワット数に切り換えてください。(図14、15

□アッテネーターつまみ位置での減衰量と音量

0	1	2	3
OFF	−12dB(−10dB)	−7dB(−4dB)	0dB(0B)
切	小	中	大

☆減衰量はワット数切換スイッチ3W設定時の後に( )内に1W設定時を記載しています。

□ワット数切換スイッチ

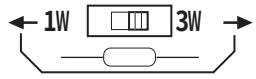
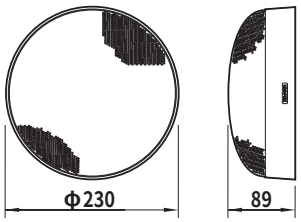


図 15

定 格

品番	SP-233	SP-233LA
定格入力	3W	
インピーダンス及び非常用種別	3.3kΩ(3W) L級　10kΩ(1W) L級	3.3kΩ(3W) L級　10kΩ(1W) L級
音響パワーレベル	p=98dB (1W)	
指向特性区分	W	
出力音圧レベル	92dB (1m 1Wにて)	
音量切換	――――――――――	3W時：0 (OFF),1 (−12dB),2 (−7dB),3 (0dB) 1W時：0 (OFF),1 (−10dB),2 (−4dB),3 (0dB)
再生周波数帯域	140Hz〜16kHz (偏差20dB)	
使用スピーカー	φ16cm ダイナミックコーンスピーカー (8Ω)	
外装	本体(ABS樹脂)：マンセル 5GY 8/0.5 近似色　ホワイト ネット(SECC t=0.5)：マンセル 10GY 7.5/0.5 近似色　ライトグレー	
寸法	正面φ230mm　奥行89mm	
質量	約 870g	約 890g
付属品	取扱説明書 1、営業所一覧表 1、取付金具1、タッピンねじ(4×20) 2、小ねじ(M4×35) 2	

外観寸法図
(単位mm)



製造元 日本電音株式会社
発売元 ユニペックス株式会社